

# ☆子育て広場☆

令和6年3月12日 NO, 15  
温知学舎 世田谷区立烏山小学校  
すまいるルーム

## 子は親の鏡

私には1歳と3歳の子どもがいます。初めての子育てに毎日悪戦苦闘しながら過ごしていますが、いつも「これでいいのか？」と悩む日々です。息子のイヤイヤ期が終わったかと思えば、今度は娘のイヤイヤ期が始まりました。忙しい中作ったご飯を投げ捨てられ、兄のおもちゃを奪って壊し、2人同時に泣く…。私自身に心の余裕があれば、ゆっくり気持ちを確認したり、約束事を決めたり、気分転換をさせたりと、すまいるルームでの指導のように対応できます。ですが、家ではそうとはいきません。ある日、イライラした気持ちのまま、怒り口調で娘に「ダメでしょ！」と言ってしまったことがありました。すると数日後、息子が同じ口調で妹に叱っているのです。子どもは本当によく親の姿を見ていると痛感し、反省した出来事でした。『子供が育つ魔法の言葉』という本の中の一節を紹介します。

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っ込み思案な子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを学ぶ  
子どもに公平であれば、子どもは、優しい子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる  
『子どもが育つ魔法の言葉 for Mother and Father』  
ドロシー・ロー・ノルト 平野卿子訳 (PHP 研究所)

イヤイヤ期やたくさんの困難を乗り越えて、今現在、子育てされているみなさんに心から頭の下がる思いです。親も一人の人間です。イライラすることがあって当然だと思います。叱りつけてしまっても、その分心の余裕があるときにたくさんの温かい言葉を伝え、そんな温かい言葉を自然に真似して使える子どもたちに育てていきたいですね。